

古紙プロジェクト通信 かみんぐ

糸氏 ing

発行：沖縄リサイクル運動市民の会
古紙プロジェクト事務局（上原）

〒903-0805

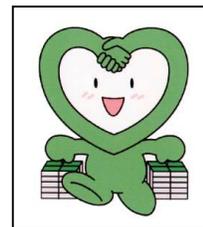
沖縄県那覇市首里鳥堀町4-44-1

TEL 098-886-3037 FAX 098-886-3001

<http://www.ryucom.ne.jp/users/kuru2>

自治体に広がる「紙ひも」採用

県内では豊見城市が初！他市の今後の動向に注目



マナー違反の古紙出し

「古紙の入った紙袋の中から新聞や雑誌と混ざってごみや残飯、動物の死骸がでてくることがある。」これはある古紙回収業者の現場の声です。中が見えないから何もかも入れてしまう心無い人の行為なのでしょう。古紙は家庭やオフィスから回収され、古紙回収会社の工場に持ち込まれます。「古紙は分別が命」と言われている通り、種類ごとに分けて出すことで資源化が可能となります。そのため工場では分別の精度をさらに高めるため、手作業による選別が行なわれています。その作業中に上記のような異物が出てくることを察してみてください。明らかにマナー違反です。

古紙のリサイクルは、家庭・オフィスにおいてしっかりと分別されていることを前提に構築されたシステムなのです。このような異物混入が後を絶たないことから「中身が見えない紙袋入りの古紙は引きとらない」事態に発展し、多くの自治体では「ひもで結束して出して下さい」という指導に変わってきた背景があります。選別する側の立場になって考えれば当然のことと思います。県内には11の市がありますが、そのほとんどが「古紙はひもでしばって出してください」と指導しています。ひもでしばって出すことで、選別する人たちの「何が入っているのかわからない」という不安を解消し、安心して選別作業に専念できるシステムに改善していくことも大事なことです。

資源化の視点で「紙ひも」

ほとんどの市は「ひもでしばる」ことを求めているだけで、ビニールひもでしばって出しても構わないということなのですが、注目すべきは豊見城市の「紙ひも」指定による古紙出しです。「紙ひも」とは、古紙を原料として作られたひものことで、ひもの強度を増すために、ねじりながら巻き上げるなどの工夫がされています。「紙ひも」採用によるメリットは何か？それは異物として工場で切り取る必要がなくなる（つまり、ビニールひものごみが発生しなくなる）、そのまま資源化に回すことができる。紙ひもという再生紙製品のグリーン購入につながる。以上3点が大きなメリットとして挙げられます。豊見城市は他市に先駆けて、さらに一歩進んだ環境への取り組みを行なっていると言えます。1家庭、1オフィスの数メートルのビニールひも使用であっても、最終的に持ち込まれる古紙回収工場では、あっという間にコンテナ一杯分のビニールひもになるとのこと。紙ひもに切り替えることで、このごみも発生しなくなるのです。

県外での紙ひも採用例としては、秋田県能代市、静岡県掛川市、福井県武生市などが挙げられ、紙ひもを推奨する自治体も全国的に増加しています。豊見城市に続き、県内自治体での紙ひも採用の動きに期待をしたいものです。

この紙は新聞古紙100%再生紙、エコペーパー100です

紙ひも「エコひも君」

当会では古紙プロジェクトの発足当初から紙ひもでの結束をお願いしています。大量に排出する場合はダンボール箱に入れた状態での回収もしておりますが、分別がきちんとなされているという信頼関係のもとで実施しております。また、手ごろな箱がない場合は、やはり紙ひもで結束しての古紙出しをお願いしております。当会が販売している紙ひも「エコひも君」は、古紙が原料となって作られたものです。回収された古紙から製品化されたエコひも君は、環境のことを考えて作られた製品ですので、グリーン購入という点で愛用して頂きたい、販売のご案内を致します。

「エコひも君」当会にて販売中！

年末・年度末に限らず、何かと重宝する紙ひもです。古紙リサイクルのより良いシステム構築のため、また事業所の皆様にもお求め安い価格で用意致しました。

エコひも君 価格



1セット(1巻50M×10個)

特別価格¥1,050 - (税込)

古紙プロジェクト参加事業所に限り、プラス配達料300円でお届け致します。

ご注文は、098-886-3037まで

日本の1人あたり紙の年間消費量 249.9kg！ 世界平均の5倍も消費する

250kg はどのくらいの紙の量か？

2000年における日本の1人あたり紙の消費量は約250kgとなっています。250kgとはどのくらいの紙の量になるのでしょうか。身近にあるもので換算してみることになります。NTT西日本が発行している沖縄県本島版のタウンページ1冊が約1.3kgです。タウンページで換算すると約192冊分に相当します。次にA4コピー用紙で換算してみます。1包が500枚入となっていて重さが約2キロ。よって125包(1箱5包入なので箱数だと25箱分)に相当する量です。家庭からは新聞チラシが中心となりますが、企業では事業活動に伴う大量の紙が使用され、排出されていきます。個人ではさほど使用していないつもりでも、組織として大量の紙を消費していることは身に覚えがあるかと思えます。それが積み積み年単位で見ると、1人あたり250kgという想像を超える消費量になっているのです。

紙消費量は所得レベルと密接な関係

紙の消費は生活様式や文化、産業と密接な関係にあります。世界の紙消費量は先進国と言われる国々に大きく占められています。紙は多種多様な用途に使われます

が、生産される紙のうち、書籍など長く使われる製品となるのは全体の10%ほどで、残りの90%は1回限りのいわゆる使い捨て消耗品とのこと。その中でも印刷用紙と筆記用紙の伸びが著しいようです。紙消費の

【世界の紙消費量上位10カ国(2000年)】

順位	国名	消費量 (Kg/1人)
1	フィンランド	351.7
2	ベルギー	340.7
3	アメリカ	331.7
4	スウェーデン	277.1
5	オランダ	272.9
6	デンマーク	269.4
7	ルクセンブルク	260.0
8	日本	249.9
9	スイス	246.0
10	カナダ	243.1

上記数値は(財)古紙再生促進センターHP内「紙・板紙消費量」を参照

上位 10 カ国が 1 人あたり 240kg を超えています。世界平均は約 50kg 前後、アジア平均だと 27kg 前後であり、いかに先進諸国が飛びぬけて紙を消費しているかがわかります。

国内の紙消費量も 20 年で 1.6 倍に

日本における紙消費量の推移を見てみると、戦後数年間は紙不足の時期もあったようですが、その後は産業発展とともに右肩上がりで伸びてきました。

【日本の 1 人あたり紙消費量推移】

年	Kg/人
1980年	153 kg/人
1990年	229 kg/人
2000年	250 kg/人

1980,1990 年の数値は「最新・紙のリサイクル」(王子製紙編著)より

比較して 1 人あたり 21kg 増、20 年前とでは 97kg も増加しているのです。「紙の消費は文化のバロメーター」という言葉があるように、大量生産、大量消費の道をひたすら歩んできたのでしょう。また、パソコンの普及によってペーパーレス化が到来すると言われたものの、結果はその通りにはならず、逆に紙の消費は増えています。

産業発展とともに右肩上がりで伸びてきました。2000 年を基準として 10 年前、20 年前の消費量と比較してみると、10 年前と

捨てるのではなく資源化を

このニュースレターを通して何度もお伝えしていますが、沖縄における使用後の紙の行方は、多くがごみ箱へ捨てられ焼却されているのが現状です。この小さな沖縄でさえ、多量の紙が流通し、消費されています。分別さえきちんとされていれば、紙はリサイクルルートに乗り再生紙製品として生まれ変わります。紙はごみではありません。貴重な資源です。私たちは古紙回収会社と連携し、古紙リサイクルシステム構築に向けて事業を進めています。新聞・雑誌、パンフレット類、OA用紙はもちろんのこと、リサイクルシュレッダー機の導入により、機密文書の資源化も可能です。古紙処理にお困りの事業所様、ぜひ当会までご連絡下さい。ご説明に伺います。

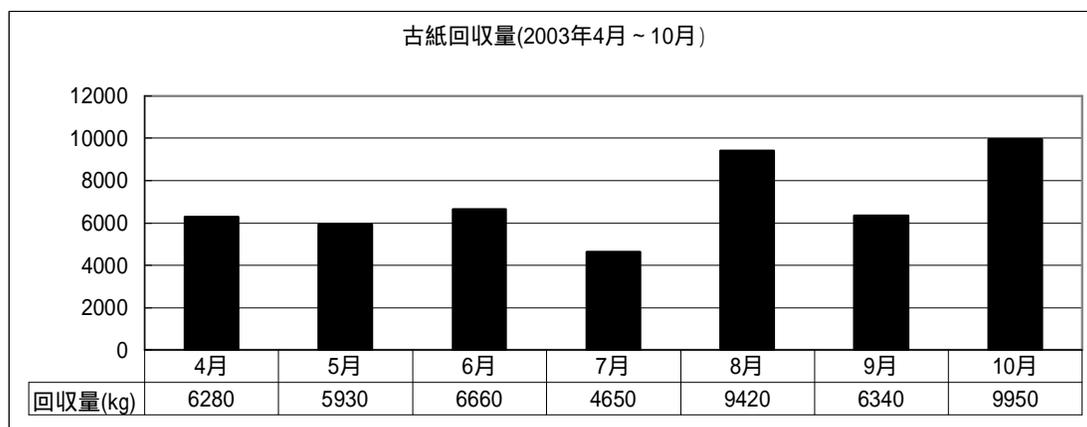
古紙 P J 新規入会事業所の報告

前号のニュースレターで沖縄リコー(株)様入会をお伝えしましたが、その後も続々と入会しておりますので、ご報告致します。

「金沢公認会計士事務所」(那覇市)、「田辺製菓(株)沖縄営業所」(那覇市)、「大同火災海上保険(株)」(那覇市)、「(財)21 世紀職業財団沖縄事務所」(那覇市) 以上 4 事業所が新規入会しました。今後もこの輪を広げていきたいと思います。

【古紙回収量の報告】

参加事業所から回収している古紙の月別回収量をグラフにて表しています。データは 2003 年 4 月～10 月の 7 ヶ月間を載せております。7 ヶ月間の古紙総回収量は約 49 トンです。この古紙は回収業者の(有)ふじ産業を通じ、確実に資源化されていることをご報告します。



古紙プロジェクト参加事業所

(2003年11月末現在、計21事業所)

- ・(株)沖縄ファミリーマート
- ・(学)沖縄大学
- ・琉球ジャスコ(株)
- ・(有)沖縄環境経済研究所
- ・朝日新聞那覇支局
- ・ゆいまーる沖縄(有)
- ・(株)イーエーシー
- ・(特)沖縄平和協力センター
- ・沖縄リコー(株)
- ・田辺製薬(株)沖縄営業所
- ・(財)21世紀職業財団沖縄事務所
- ・沖縄ツアーリスト(株)
- ・(株)沖縄タイムス社
- ・(株)琉球新報開発
- ・(株)国際ビル産業
- ・共同通信那覇支局
- ・(株)沖縄ガスキン
- ・琉球セメント(株)
- ・OTV国和プラザ管理組合
- ・金沢公認会計士事務所
- ・大同火災海上保険(株)

～ 沖縄の古紙リサイクルをリードする事業所です ～

資料請求・お問い合わせは
古紙プロジェクト事務局(上原)
TEL098-886-3037 FAX098-886-3001 まで
お気軽にどうぞ。ご連絡をお待ちしております。

